

東地域担当圏域包括ケア会議 まとめ

《 テーマ 》

『両津版 認知症のチェックポイント』を活用して、認知症の早期発見と見守りの地域づくりを検討する

《 地域課題 》

日々応じている様々な内容の相談の中でも、認知症に関する相談が多くなっている。特に前頭側頭型認知症に見られるような症状の相談が目立ってきている。認知機能低下による症状の影響等で地域では本人との関わりを敬遠したり、問題が重度化してから表面化することが多い。そのため、権利擁護につなげるケースも増えており、対応が困難化している。

《 内容 》

見守りのネットワークを活用し、認知症の早期発見につなげられるよう、認知症の見守りポイントのチェックシートを作成する。茶の間やサロンで本人や家族と、福祉関係者が活用するものと2パターンで検討した。チェックシートには一般的な認知症の症状に、前頭側頭型認知症の症状も加えた。

《 成果 》

『両津版 認知症のチェックポイント』を作成した。用途によって使い分けられるように、「茶の間・サロンなど一般市民向け（本人・家族用）」と「関係機関（福祉関係者）」にも使えるような認知症の見守りポイントのチェックシートの2種類を作成した。

《 課題 》

令和4年度に関係機関へ配布する。『両津版 認知症のチェックポイント』が活用しやすいものになっているか、早期発見・相談につながっているかを確認していく必要がある。

新たな課題として、認知症をはじめ高齢者の能力や機能低下にともなって出来なくなることが増えている為、生活課題を検討していく必要がある。